

## 《第1回審議会での主な意見》

## ＜計画全般＞

- ・将来の出雲市のスポーツの姿を計画で示すことが必要
- ・スポーツによるまちづくりとして、どういう形で進んでいくかを考える必要がある。
- ・将来の出雲市の具体的なスポーツ像を考える必要がある。
- ・出雲市のスポーツのブランド種目が必要
- ・将来の出雲市のスポーツ未来像、ゴールが定まっていると良い。
- ・将来像の為には、若い世代の意見を取り入れた計画が必要

## ＜スポーツがあふれるまちづくり＞

## 【多様性に対応した施策】

- ・価値観の多様化によりスポーツに対する考え方がそれぞれ違う。
- ・二面性、多様性を持った仕組みが必要

## 【少子化】

- ・スポーツ少年団の減少に対してどのように対処するのか。
- ・学校体育と社会体育との連携、体育協会内での連携、スポーツ団体の連携
- ・団体スポーツが持続可能な手立てが必要

## 【高齢化】

- ・高齢化の時代にどのように受け継いでいくかが課題

## 【障がい者スポーツ】

- ・健常者と障がい者が一緒に参加する機会が必要
- ・障がい者が社会に出た後にスポーツ活動をする機会を増やす必要がある。

## 【スポーツ人口の拡大】

- ・子どもたちの運動する機会が減っている。
- ・高校卒業後にスポーツ活動を継続する人が少ない。

## ＜スポーツを担う人づくり＞

## 【指導者育成】

- ・子どもたちがやりたいスポーツの指導者が少ない。
- ・高校生がダンス同好会で、自発的に活動する事例のような、自主的なスポーツ活動も新しい形

## ＜スポーツを支えるネットワークづくり＞

## 【施設管理】

- ・予約、キャンセル、還付の統一を検討する必要がある。
- ・WEB予約の検討